## 第3次向日市環境基本計画に係る進捗状況について(数値)

資料1

(基準日:令和5年3月31日)

保予 世界 日	施策の方針	実績値(R4年度)		評価	(奉作口・中和5件3月31日)
注意型的機能性できまち   153.1千トCO2   46%(116千トCO2)		※速報値	目標値(2030年)		備考
第三分の子の大型による   1800年	気候変動対策を推進するまち				
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	温室効果ガス排出量		-46%(116∓t-CO2)	0	2013年度(214.7千t-CO2)比-28.6%
要 00% (2031年度) ○ 次世代自動車部及台数 3.247台 12.600台 ○ 1724年 (2030年度) ○ 計画中における総基数153に対し、R4実績値が50基、進捗 (3030年度) ○ 計画中における総基数153に対し、R4実績値が50基、進捗 (3022年度~2030年度) ○ 計画中における総基数153に対し、R4実績値が50基、進捗 (32.6%となった。		994件	(戸建て住宅の約10.3%)	0	
### ### ### #### #### ###############	公共施設におけるLED照明利用 率	60%		0	
全二の場所に関入権制基数	次世代自動車普及台数	3,247台	12,600台	0	
☆ 八残しゼロ推進店舗認定数 14店舗 20店舗 △  竹林ボランティア会録数 47人 100人 ○  「特林ボランティアによる竹林整備 4,800㎡ 6,000㎡ ○  環境保全型農業推進面積 1.5ha 2.0ha △  雨水貯留タンク補助件数 7件 17件/年 (153件 (2022年度~2030年度) △ は4.5%となった。  環境保全型農業推進面積 91.3t 747t ◎  「建連社会を実現するまち 1人1日あたり収集可燃ごみ量 413g 365g以下 (2031年度) ◎  用生利用率(リサイクル率) 7.5% (2031年度) ◎  「角原棄物の焼却に伴う湯室効 7,6tーCO2 (2031年度) ◎ 「一人あたり1.3㎡ 一人あたり4.8㎡ ○  大気の環境基準達成状況 100% (2031年度) ◎ 「別川環(80D)※1の環境基準 90% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で毎4回、計20回計測したところ18回環境 表表の影響と表現であるまち 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境 表表の環境基準達成状況 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境 表表の影響と表現状況 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境 表表の影響と表現状況 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境 表表の影響と表現状況 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境 表現状況 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境 表表の影響と表現ない 2031年度) ○ 観測地点6箇所中4回、計20回計測したところ20回環境 表表の影響と表現ない 2031年度 (2031年度) ○ 観測地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。 100% (2031年度) ○ 観測地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。 100% (2031年度) ○ 銀別地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。 100% (2031年度) ○ 日の最近に関する情報 23回/年 (2031年度) ○ 日の最近に関する情報 23回/年 (2031年度) ○ 日の最近に関する情報 23回/年 (2031年度) ○ 日の最近に関する情報 23回/年 (2031年度) ○ 日のまたとに伴 (2031年度) ○ 日のまたとに作 (2031年度) ○ 日のまた		50基	(2030年度) ※153基	0	計画中における総基数153に対し、R4実績値が50基、進捗率は32.6%となった。
竹林ポランティア登録数 47人 100人 ○	ごみ総排出量	13,465t	13,130t	0	
竹林ボランティアによる竹林整備	食べ残しゼロ推進店舗認定数	14店舗	20店舗	Δ	
高積	竹林ボランティア登録数	47人	100人	0	
雨水貯留タンク補助件数 (年間) 7件 (2022年度~2030年度) △ 計画中における総件数153に対し、R4実績値が7件、進捗等 (2022年度~2030年度) △ 計画中における総件数153に対し、R4実績値が7件、進捗等 (2022年度~2030年度) △ 計画中における総件数153に対し、R4実績値が7件、進捗等 (2022年度~2030年度) △ は4.5%となった。  環境市民講座参加者数(年間) 67人 160人 △		4, 800㎡	6,000m²	0	
特別の	環境保全型農業推進面積	1. 5ha	2.0ha	Δ	
古紙等集団回収集積量 91.3t 747t		7件	※153件	Δ	計画中における総件数153に対し、R4実績値が7件、進捗率は4.5%となった。
1人1日あたり収集可燃ごみ量	環境市民講座参加者数(年間)	67人	160人	Δ	
1人1日あたり収集可燃ごみ量	古紙等集団回収実績量	91. 3t	747t	0	
再生利用率(リサイクル率)	<b></b>				
円主刊用年(リウィフル学)	1人1日あたり収集可燃ごみ量	413g	365g以下 (2031年度)	0	
果ガス排出量 7.81-CO2 (2031年度) © (20	再生利用率(リサイクル率)	7.5%		0	
		7. 6t-CO2		0	
大気の環境基準達成状況 100% (2031年度) の 観測地点6箇所中6箇所において環境基準を満たしていた。	こうの緑と歴史が映えるまち				
大気の環境基準達成状況	公園緑地面積	一人あたり1.3㎡	一人あたり4.8㎡	0	
達成状況       90%       (2031年度)       準を満たしていた。         河川水質(SS)※2の環境基準達成状況       100%       100% (2031年度)       観測地点5箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境、準を満たしていた。         騒音の環境基準達成状況       83.3%       100% (2031年度)       量       観測地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。         特殊可能な社会の担い手を育成するまち       12回以上/年 (2031年度)       ©          市民講座の開催数       3回/年       4回以上/年 (2031年度)       ○         市民講座の開催数       3回/年       4回以上/年 (2031年度)       ○	大気の環境基準達成状況	100%		0	観測地点6箇所中6箇所において環境基準を満たしていた。
成状況     100%     (2031年度)     準を満たしていた。       騒音の環境基準達成状況     83.3%     100% (2031年度)     位     観測地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。       特続可能な社会の担い手を育成するまち     12回以上/年 (2031年度)     ⑥       広報・HP等で環境に関する情報 提供     23回/年     12回以上/年 (2031年度)     ⑥       市民講座の開催数     3回/年     4回以上/年 (2031年度)     ⑥		90%		Δ	観測地点5箇所で年4回、計20回計測したところ18回環境基準を満たしていた。
報音の環境基準達成状況   83.3% (2031年度)		100%		0	観測地点5箇所で年4回、計20回計測したところ20回環境基準を満たしていた。
広報・HP等で環境に関する情報 23回/年 12回以上/年 提供 2031年度) ◎ 市民講座の開催数 3回/年 4回以上/年 (2031年度) ○	騒音の環境基準達成状況	83.3%		Δ	観測地点6箇所中5箇所において環境基準を満たしていた。
提供     23回/年     (2031年度)       市民講座の開催数     3回/年     4回以上/年 (2031年度)	<b>詩続可能な社会の担い手を育成するま</b>	きち			
P氏調座の開催数 3回/年 (2031年度)		23回/年		0	
理控/ログー 取り切り 大学 かロけ 1.0円 け	市民講座の開催数	3回/年		0	
との連係 3団体 (2031年度)	環境保全に取り組む企業や団体 との連係	3団体	10団体 (2031年度)	0	

評価凡例【◎】計画以上に進んでいる

【〇】計画どおりに進んでいる

【△】計画より遅れている

【×】未実施

<sup>※1</sup> BOD:水中の有機物が微生物によって分解される際に消費される酸素の量のこと。この量が大きいほど水質の汚濁が進んでいることを意味する。

<sup>※2</sup> SS:水中の浮遊物質量のこと。水質汚濁の度合いを示す指標で、水中に浮遊している微細な固形物の量(値)が大きいほど汚濁が進んでいることを意味する。